

ミッション:今、そして未来へ挑戦し、地域・社会と共生する学校

- 日本国憲法(前文)
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 沖縄県・島尻教育事務所教育目標及び教育施策
- 南風原町教育目標及び教育施策

**南風原町そろえる
実践<凡事徹底>
時を守り
場を清め
礼を正す**

校訓『自立・共生』 ※指導の立脚点として
自立…自らの課題に粘り強く取り組み、学ぶ意欲と
責任をもって行動する
共生…人とつながり、地域・社会、自然と協調して
生きる

学校教育目標

☆よく学ぶ生徒(知)自ら学びともに学ぶ生徒

☆心豊かな生徒(徳)

思いやりをもち、互いに認めあえる生徒

☆たくましい生徒(体)

心身ともに健康で、忍耐力のある生徒

スローガン 「生徒教師が対話を通して信頼し合い、
ともに笑顔と活気に満ちた学校」

保護者・地域の願い
☆将来の夢や希望を持ち、自らの人生を切り開き、たくましい、心豊かな子に育つほしい
<地域の概況>

- 県都那覇市に隣接し、津嘉山区の開発整備、町外からの人口流入等により生徒数が増えている。(R6.3 656名)
- 地域学校協働本部事業(学校応援隊はねばる)を始め、地域の支援が活発で協力的である。

<言語化・視覚化>

本年度の重点

<豊かな心を育て、じりつ(自立・自律)共生する生徒の育成>

- ①目標の運動に取り組み、個人の目標の達成を図る。
- ②特別な教科「道徳」を要とした道徳教育の推進。「考える道徳」、「議論する道徳」(全職員で関わる)
- ③南星中ならではの特色ある教育活動の実践(学校行事・生徒会活動等)し自主性・主体性を育成する。
- ④地域人材を活用し3年間を見通したキャリア教育の実践(農業・PBL・平和学習等)「かふやみ」

<自ら学びに向かい、確かな学力を身に付ける生徒の育成>

- ①主体的・対話的に学習に取り組む生徒の育成を目指し、個別最適な学び、協働的な学びによる授業改善を目指す(タブレットの活用)
- ②「南星スターディモデル」の共通実践による「読み解く力」の育成
- ③生徒指導の4つのポイントを生かした授業の日常化
- ④キャリア手帳・放課後学習会の活用を促し、自学学習のサイクルの確立を図る。

<健康で安全・安心な学校づくりの推進>

- ①生徒個々の抱える問題に対応する相談体制の充実を図り、組織的な指導・支援にあたる。
-生徒指導委員会・教育相談委員会・特別支援教育の連携-
- ②安全な環境整備とともに生徒自身の自己指導能力の育成を図る。(避難訓練・各種講話等)
- ③学校公開日、学校説明会の実施、学校評価等による教育活動のPDCAサイクルによる改善

<生徒とともに学び、「チーム南星」の組織の一員として職務を遂行する教職員>

- ①目標の運動を意識して各種経営(学校・学年・学級・教科・部活等)の充実に取り組む
- ②多様性※人権を尊重し、教師・生徒・保護者間においてまずは「対話」による理解、指導、支援を心がける。
- ③「報告・連絡・調整・相談・確認」を密に行う。何かあれば直属の組織との共有→管理職への方向・共有を怠らない。
- ④服務規律の遵守→体罰・暴言の禁止、信用失墜の禁止(公務内外で行われた暴行・傷害、飲酒運転、わいせつ行為等の犯罪行為、刑事罰の対象にならなくても社会的に非難されるべき行為等)
- ⑤教師力の向上(教師の基本は授業)を目指し、校内研修を通して共通実践を図り、協働して教育活動に取り組む。
- ⑥笑顔で働きがいのある健康的な職場(風通しの良い、相互扶助、業務改善※ノー残業デー、部活動の適正化、教材・資料の共有化、アンケートのオンライン化、会議の持ち方の見直し等)県ピースプランの3軸6視点

- ①コミュニティ・スクールの推進<学校運営協議会の開催><学校支援ボランティア、地域自治会等との連携>
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校」づくり
- ②小中連携の推進(小中情報交換会・小6出前授業の実施等)
- ③PTAとの連携による教育活動の充実
- ④行政・関係機関との連携(子どもの問題を発見し支援につなぐ)(部活動の地域移行・展開)